

平成26年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

タケオ州コッ・オンダイレファラル病院内科病棟 完成式典開催

平成27年10月6日（火）、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件（供与限度額：103,082米ドル）により供与された内科病棟の完成式典が、タケオ州コッ・オンダイレファラル病院（旧タケオ州キリヴォンレファラル病院ロミン分院）で開催されました。右式典には、ソック・アン副首相、レイ・バナッ・タケオ州知事、ソック・ペン保健省長官、日本国大使館から隈丸大使が出席して祝辞を述べるとともに、その他地域住民約3,000人が参列しました。

本案件は、タケオ州コッ・オンダイレファラル病院に内科病棟を建設し同病棟へ病床を設置することで、内科患者の受け入れ数を増やすとともに、従来問題となっていた内科患者と結核患者が同じ病棟に入院することによる院内感染のリスクを減らすことを目的として、2014年3月に贈与契約が結ばれ、この度完成式典の運びとなりました。

式典では、まず司会者が来賓を紹介した後、レイ・バナッ・タケオ州知事によるスピーチが行われました。続いて隈丸大使がスピーチを行い、「カンボジアが保健分野で大きな改善を図る中、日本政府は同分野の支援を継続的に行ってきた。本案件で建設した内科病棟により、多くの地域住民が医療サービスを受けられるようになることを望み、また本案件がカンボジアと日本のさらなる友好関係促進に寄与することを願う。」と述べました。その後、ソック・アン副首相がスピーチを行い「日本政府は、カンボジアに対して政府開発援助を通じた支援を長らく行ってきた。この場でカンボジア政府を代表し、日本政府及び日本国民に感謝を申し上げる。今後とも、タケオ州コッ・オンダイレファラル病院の地域住民に対する医療サービスが改善するようご支援頂きたい。」と述べました。その後、来賓によるリボンカット及び病院見学が行われ、式典は無事終了しました。



▲隈丸大使とソック・アン副首相



▲隈丸大使とソック・アン副首相



▲式典の様子



▲式典の様子



▲レイ・バナッタケオ州知事によるスピーチ



▲隈丸大使によるスピーチ



▲ソック・アン副首相によるスピーチ



▲隈丸大使によるリボンカッティング



▲約3,000人の式典参加者



▲内科病棟見学



▲内科病棟概観



▲内科病棟ドナーボード